



Rotary



Report

2023-24 No.4 令和5年9月29日

東京八王子西
ロータリークラブ

●会長標語

会長 神辺 和幸

ロータリーで会おう そして行動しよう

今週のプログラム

- 第2746回 (9/29)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話 平澤 東氏

「八王子の山車まつりの流れと各地の曳山まつり」

次回のプログラム

- 第2747回 (10/6)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝

- *イニシエーションスピーチ
- 坂本健造会員

青少年交換が始まったきっかけを皆さんはご存知でしょうか。1920年代にヨーロッパのロータリアンが自分の子どもたちを違う国の子どもと交換しようというので始まったプログラムなんです。お互いの国を知ってもらいたい、ヨーロッパは国と国が横同士で昔から戦争があつたので戦争をなくしたい、ということから始まったのがきっかけです。ただし、第二次世界大戦のときにこのプログラムはなくなつてしまいました。その後1946年にプログラムがまた開始されました。この活動が国際的活動として認められ、1974年に国際ロータリープログラムとして理事会で採択されました。2750地区では1963年から始まり、初めて私たちが2750地区が派遣した国が



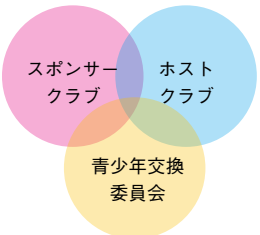
地区青少年奉仕委員会 RYLA 委員会委員 田中耕三朗氏

卓話「青少年交換派遣事業とは」

オーストラリアです。現在100カ国、400地区でこの交換プログラムが開催されています。実際に1年間で交換派遣されている学生は8000人になります。国際ロータリーが推奨する常設プログラムということで、世界中のクラブが主体で動いております。

青少年交換プログラムの概略

異文化に接することは国際理解と平和を促進する最も効果的な方法です。このプログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を多くの青少年に提供しています。このプログラムは、参加する青少年と青少年を受け入れるロータリアンや地域社会全体に多くの恩恵をもたらしています。この青少年交換プログラムは、スポンサークラブとホストクラブと青少年交換委員会の三者がきちんと行動して成り立っている事業です。



スポンサークラブについて、ここでは説明しなくてもよいのかもしれませんが、スポンサークラブは派遣生をサポートするクラブです。募集要項に基づいて学生の推薦をお願いしています。前回は滝島さんが合格されました。試験は中学3年生から高校2年生が対象になります。ただし、中学3年生は私学に通っている子どものみになります。高校生は私学でも都立でもどちらでも構いません。派遣候補生としての1年間の研修を経て、小さな親善大使として海外に派遣されるわけですが、この海外に派遣される時は高校1年生から高校3年生の時期になります。

滝島さんの年度は4人でブラジルに2人、アメリカ・メキシコに各1人派遣されました。この年度はコロナの影響があつたということ、もう一つはロシアとウクライナの戦争があつたため委員会としてヨーロッパはどうなのかという話になり、南米とアメリカになつたという状況です。ついこの間出発した子どもたちも4人ですが、その4人はアメリカとメキシコ、そしてフランスとイタリアに派遣されました。派遣国の中で多い国ではインバウンドが30人から50人も集まる地区もあります。特に南米の地区はすごく多いです。逆に言うと、今回は滝島さんをブラジルに派遣しましたけれども、実は全世界から集まっていますので、今全世界にその子たちがいるという状況になつていると思います。ですからこれから色々なところに旅行に行けるのではないかと思えます。日本人の代表としての感覚が普通の交換留学と比べて強く感じると学生たちは言います。それから、どの国に行くかではなく、派遣された国で何をしてくるか、学んでくるかを重視したプログラムになっています。帰国後は、ローテックスとしての活動が精神的にも大きな成長をもたらしています。帰ってきた子どもたちを沢山見せていますが、皆素晴らしい大学に行つています。大学を卒業した後大学院に行く子もいます。また、海外の企業や日本の外資系企業、あるいは皆さんが知っている有名な企業に皆勤めており、すごく大きく成長しています。



ご挨拶(帰国報告)2022-23年度青少年交換派遣生

滝島凜夏さん

2023年9月15日(金)



2022-23年度青少年交換派遣生
滝島凜夏さん

1年前の私は、ブラジルで派遣生活を送るにあたって2つの目標を立てました。1つ目は「小さな親善大使」としての役割を全うすることです。やはり、派遣生として日本の国旗を背負うからには、私が自分から意識して日本について発信することが大切だと考えこの目標にしました。2つ目は、周囲に希望を与えられる人になることです。これは日本での家族とか友達を含めて私の派遣を応援してくださるすべての人に「凜夏はブラジルで頑張っているのだから自分も頑張ろう。」と思ってもらえるようなみんなに希望を与えられる存在になりたいと考えこの目標にしました。それでは実際私がどのように派遣生活を過ごしたのか、この目標が達成できたのかどうかを頭の片隅に置きながら聞いてください。

私は1年間の派遣生活をこ

こブラジル南部のブルメナウという街で過ごしました。この街は、ブラジルのイメージでよくある「治安が悪そう。」というイメージはかけ離れていて、夜でも出かけることができるくらい治安が良く安全です。すてきな街でした。街の中心部には大きな川があるのが特徴で、運がいい日にはカピバラが泳いでいるの見るができます。私も毎日学校に行く時はここを通っていたので橋の上からカピバラを探して眺めたりしていました。

そんな私は、派遣生活を始めてから少し経った頃に二つの大きな壁に直面しました。一つは、現地の言葉であるポルトガル語が話せなかったこと、そして学校での友達作りが上手くいかなかったことです。

まず、私はブラジルを含めたラテン系の国の人はフレンドリーでとにかくたくさん話しかけてくれるだろうというイメージを派遣前から持っていたので友達作りについてはそれほど心配していませんでした。そして実際に学校に行ってみると確かにブラジル人のクラスメイトは興味津々で話しかけてくれる人が多かったのですが、それが友達と呼べるほどの関係に発展しないことが多く、私は学校で仲の良いブラジル人があまりいないと言う状

況でした。その理由の一つとしてポルトガル語という言葉の壁があつて、派遣前から勉強していたものの、実際に着いてみると会話を全く理解することができなかつたです。私は相手に話しかけてコミュニケーションを取りたいのに思うように会話が続かないと言つようなもどかしさを当初はずつと感じていました。

学校ではこのようにブラジル人での仲の良い友達を作るのには苦勞していたので、私は同じ学校に通っていたロータリーの派遣生3人と必然的に多くの時間を過ごすようになりました。私が学校の授業でついていけないときは彼らに質問したり、あと派遣当初は彼らとよく授業の休み時間に一緒にポルトガル語を勉強していました。放課後もお互いのホストファミリーの家を行き来して時間を過ごしたり、あとはロータリーの例会も時々一緒に参加していたので、彼らは私にとつて第二の家族のような存在でした。

しかし今、私が派遣生活を振り返つてみて反省するべきだと感じたポイントは、当時留学生だけの輪からなかなか抜け出せなかつたという点と、それをポルトガル語ができないことを言い訳にしていたということです。ブラジル人との関わりがもちろん

全くないわけではありませんが、留学生という仲間がいることに満足しないで自分からブラジル人との交流をもっと増やしていればもっと本当の意味でブラジルに浸かることができたのではないかと考えています。

そうはいつてもブラジル人との関わりという面で言うと、やはり最も近くで長い時間を共に過ごしたのがホストファミリーでした。私がポルトガル語を全く理解していない時から根気強く会話を付き合ってくれて共に色々なことを乗り越えたので、ホストファミリーも派遣生と同じくらい家族同然の存在でした。特に私は、学校から帰ったあと夕食の準備をなるべく一緒に手伝うということを意識して行なっていました。そうすることで、コミュニケーションの場としてお互いについて知る機会を増やすことができるし、現地のブラジル料理の作り方も教わることでできました。

また、私は派遣先に折り紙や浴衣など日本を表現できるものを持っていきましました。やはり、私含めてみなさんも折り紙の折り方を少なくとも一つは知っているとと思うんですけど、ブラジル人からすると日本で当たり前のように折り紙の文化が根付いていることを疑問に思ったりするそ

うです。折り紙の折り方を教えるという何か特別なことを披露した訳ではないのにこうやって喜んで日本の文化に触れ知ろうとしてくれるホストファミリーの姿を見るのが私は楽しくてやっていた。ホストファミリーと長い時間を過ごすにつれてだんだんと会話の話題がなくなってきたりすることもあるので、そんな時にはこういったものを見せて一緒に文化の違いを楽しみました。



次に、私はブラジルで派遣生として日本を発信するために行った主に3つのことを紹介します。まずはホストファミリーそれぞれに日本食を振るまうこと。そして、派遣先のロータリークラブと現地の学校それぞれで日本を紹介するためのプレゼンをするということです。



まず、日本食づくりでは第一ファミリーから順番にお寿司、第2ファミリーではうどん、そして第3ファミリーではおにぎりを作りました。写真は全て綺麗に見えるかもしれませんが、お寿司とおにぎりを作るのには特に大変でブラジルには炊飯器がないのでお鍋しか使えない状態でお米を炊くのに私は苦労しました。鍋でお米を炊く方法を必死にインターネットで検索しながらやっていたので、ホストシスターがそんな私の姿を見て笑っていましたが、最終的には一緒に手伝ってくれて上手く作る事ができました。

特に私は派遣生としてお世話話になっているという意識があったので、普段毎日ホストマザーにご飯を作ってもらっていることへの感謝の気持ちも込めていました。私はブラジル人の口に日本食があまり合わないのではないかと、この不安があったのですが、一応おいしいと言って喜んでくれたので良かったです。

次に、私はロータリークラブの例会で日本について紹介するプレゼンテーションを行いました。初めてプレゼン発表をした時はまだ1ヶ月目の時で、つたないポルトガル語でもとても緊張しながら発表をしたのですが、現地のロータリークラブの方はとても優しく、「凜夏の発表良かったよ！」と直接言ってくれたので、自信を持つことができました。この写真の最後のプレゼン

をした時には「日本について伝える」ということを楽しもうという気持ちで臨むことができました。それほど緊張せず堂々と発表できたと思います。

学校でのプレゼンテーションを行ったときは、ロータリーの時よりも大勢の人がいたので緊張したのですが、同世代のブラジル人に日本文化について発表できる環境というのがとても貴重だ、という風にも感じました。確かに最初の頃、学校でブラジル人の友達を作るのは難しい部分があったんですけど、この発表をした後にはよく学校で話しかけてもらえるようになって、自分からアプローチをして良かったなと思います。



派遣中の活動は以上なのですが、最後に私がみなさんに向けて伝えたいことがあります。私の派遣国が決まった時、まだコロナ禍で本場に派遣が実現するの不安は大きかった中、私たちが派遣しようとして一生懸命動いてくださったロータリーのみなさん

んに本当に感謝しています。そして派遣中地球の裏側から常に私のことを応援してくれていた家族、一緒に派遣生活を送り切った同期の3人、他にも私の派遣を応援してくださった全ての人、みなさんの力のおかげでの1年間でロータリーの青少年交換でなければ得られない特別な体験をさせてもらいました。そのことに本当に感謝しています。

派遣前、私は派遣候補生4人の中で最も引込み思案だったと思っています。しかし、そんな私でもこの1年間の派遣生活をブラジルで乗り切ることができました。当初の私の目標通り私の活動を通してみなさんに希望の気持ちを持っていただけていたら幸いです。

ご清聴ありがとうございました！

100% 出席表彰

- ★13年 神辺 和幸
- ★14年 石森 浩元
- ★14年 福山 眞吾
- ★15年 関之 和之
- ★22年 諸星 宗幸
- ★23年 石井 昭久
- ★24年 森 明
- ★25年 金子 裕二
- ★27年 赤上 晃
- ★28年 大石 和春
- ★33年 野口 文男
- ★33年 三浦 眞一
- ★41年 杉本 勝義

- ★7年 秋間 勝仁
- ★7年 池田 勝
- ★7年 田村 肇
- ★7年 小林 潔正
- ★9年 田中 伸幸
- ★9年 鳥羽 正浩
- ★9年 瀬沼 次郎
- ★10年 加藤 直也
- ★10年 浅川 立憲
- ★11年 山口 覚
- ★11年 松島 勝
- ★11年 橋本 孝
- ★11年 宮澤 徳光

- ★1年 天野 順也
- ★1年 北澤 誠一
- ★3年 滝島 徳久
- ★5年 磯間 正裕
- ★5年 天神 敏博
- ★5年 相川 博
- ★5年 榎田 義久
- ★6年 瀬上 安
- ★6年 原 啓一郎
- ★6年 原 巖
- ★7年 宮原 真吾
- ★7年 塩野 明

帰国報告会・来日生歓迎式・派遣候補生合格証授与式

2023.9.10 プラザ・アペアにて



父母会代表挨拶 滝島会員



帰国した滝島凜夏さん

例会報告

第2743回●2023.9.8(金)

◆司会

山本俊明会場監督補佐

◆開会点鐘 神辺和幸会長

◆Rソング 奉仕の理想

◆出席報告・ニコニコ発表

大田吉彦出席・財務委員
会員107名中63名出席。

出席率62.38%。前回8月23日の出席率は41.00%を56.00%に修正いたします。

◆会長挨拶 神辺和幸会長

*今日は天候が悪い中お集まっています。今年の夏は非常に暑い日が続きました。昨日時点で64日連続30度以上の真夏日で、年間の真夏日の日数が77日間ということでも過去最高とのこと。今日は30度に届きませんがまた明日から暑くなるそうです。ですので皆さまどうぞお体にご留意いただければと思っております。

*先週の納涼例会には大勢の方々にご参加いただきました。これから親睦ゴルフコンペがあり、12月には年忘れ家族例会、年が明けてからは日帰り旅行、観桜例会、親睦旅行と、いろいろなイベントを親睦委員が考えておりますので是非会員並びにご家族の皆さまにご参加いただけましたらありがたく思

います。

*月初は百万ドルの食事をご用意することが多いです。本日はチキン入りのスペシャルな温かいカレーでしたがいかがでしたでしょうか？百万ドルの食事はその分寄附をしようという主旨です。ので会員の皆さまにご理解いただきたいと思いま

すし、今後の百万ドルはSAAの方でいろいろ考えていただきまして、百万ドルならではのメニューをご提供できるようお願いいたします。どうぞご期待のほどよろしく願っています。

*後ほど田村プログラム委員長から報告されると思えますが、本日のイニシエーション・スピーチの井本会員はお怪我をされたということでご急遽延期になりました。

◆幹事報告 市川 隆幹事

*例会終了後前年度決算の全員協議会がありますのでお帰りにならずにお残りいただけますようお願いいたします。

*本日の理事会で入会申込者2名が承認されました。後ほどFAX及びメールでご案内いたします。

*本日の理事会で秋田豪雨災害義捐金・いちよう祭り協賛金・赤い羽根共同募金へ予納金より一人当たりそれぞれ500円ずつ、合計1500円を支出することが承認されました。

*東京八王子ビートルズさんより10/6(金)・10/7(土)のホームゲーム特別引換券をいただきました。ご希望の方は受付のテーブルにありませんのでお持ち帰りください。

*10/21(土)第21回ロータリー全国囲碁大会がございませ

また、11/24(金)バギオ基金親睦チャリティゴルフコンペが開催されます。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

*来年5/26(日)シンガポール国際大会ガバナーナイトが開催されます。先ずは日程のみのご案内ですがご予定のほどよろしく願っています。

*ガバナー月信8月号と9月号の会員数ページの両面コピーを各テーブルに配布いたしましたのでご覧ください。

*メールボックスへウィークリー第3号を配付いたしました。

◆委員会報告

田村 肇プログラム委員長

*本日予定していた井本会員の骨折の為延期になります。

*来週は青少年交換派生としてブラジルへ派遣されていた滝島凛夏さんが来会し帰国報告をします。

◆100%出席者表彰

井上知巳出席・財務委員長

◆三祝

*会員誕生祝(順不同 会員敬称略)

山本正光、佐々木章、鈴木

雅徳、山本俊明、松崎眞司

田中伸幸、近藤芳弘、松村光

*会員令夫人誕生祝

及川知弥子様、石森純子様

平野晶保様、明利千枝子様

末木里栄様、松崎知子様

滝島由紀様、佐山正子様

鈴木由美子様、松村有紗様

松本直美様

*結婚記念祝(順不同 会員敬称略)

加藤直也、坂下幸夫、松崎眞司、末木博、近藤芳弘、市川隆、天野順也、安藤謙一郎、原啓一郎、高橋光康、立花探、鈴木卓

◆記念品贈呈

2022-23年度富澤為一ガバナーより、三浦眞一、パストガバナー・関 和之の2022-23年度会長へ

◆委員会報告

秋間勝仁職業奉仕委員長

委員会事業ダイアログ・インザ・ダークについて

IM実行委員会より 塩野明IM実行委員 11月13日(月)15:30よりIM開催、各クラブの発表は映像の件

◆閉会点鐘 神辺和幸会長

◆全員協議会

2022-23年度決算承認



2023.9.8(金)

◆神辺会長・先週の納涼例会は多くの会員にご参加いただきました。本日の例会もよ

ろしく、お願い申し上げます。

◆市川幹事・結婚記念のお祝いをいただきました。

◆石森・一年八ヶ月無職でしたが、来週9月13日(水)にガソリンスタンドがオープンする事になりました。4日間オーブンングイベントを行いますので是非ともお越し下さい。

◆加藤・本日結婚祝を頂きます。ありがとうございます。

◆神田・本日関年度決算報告をさせていただきます。よろしく願っています。

◆鈴木卓・先週の夜間例会お疲れ様でした。本日は結婚祝いと妻の誕生祝を頂けるとのこと、どうもありがとうございます。

◆立花、天野・結婚記念日のお祝いをいただきますので。

◆田中、松村・誕生日のお祝いありがとうございます。

◆萩原・お久しぶりです。

◆松崎・本日は三祝にて結婚記念日、夫婦の誕生月のお祝をありがとうございます。

◆明利、滝島、末木・妻の誕生祝いをいただきました。

◆山本正光・9月1日、誕生日です。(喜寿)

◆山本俊明・還暦祝をいただきます。また、本日、初司会となります。宜しく願います。

◆安藤謙一郎・結婚祝いのお花を頂きありがとうございます。(順不同・会員敬称略)



例会報告

第2744回●2023.9.15（金）

◇司会

小林洋文 会場監督補佐



司会／
小林洋文
会場監督補佐

◇開会点鐘 神辺和幸会長

◇Rソング 我らの生業

◇お客様のご紹介

東京八王子北RC会長君島信郎様、幹事森 雅春様、地区青少年奉仕委員会RYLA委員会委員田中耕三朗様、東京八王子北RC田中隆様、2022-23年度青少年交換派遣生滝島凜夏さん

◇食事と交歓 和食

◇出席報告・ニコニコ発表

明利 彌出席・財務委員



出席報告・
ニコニコ発表／
明利出席・財務委員

会員107名中64名出席。出席率64.00%。前々回9月1日の出席率は67.00%を75.00%に修正いたします。

◇会長挨拶 神辺和幸会長



会長挨拶／
神辺和幸会長

*まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は秋めいてまいりました。来週は秋らしくなるとの天気予報を聞きました。

*先程ニコニコ発表でも出ました。が、阪神タイガースが18年ぶりにアレだそう。当初「アレ」というのが何のことか解説も聞けなかった。ネットで検索してみたら「優勝」のこととわかりました。是非日本シリーズも頑張っていたきたいと思えます。

*9/10に青少年交換派遣生の帰国報告会があり、私と市川幹事とで蒲田にある会場まで行ってまいりました。発表を聞くにつけ、どの生徒さんも出発前より二回りも二回りも成長されて、ちよつとごめんなさい、今思い出してウルツとしてしまいました。

*2019-20石森会長年度にフランスからの来日生エリスさんをお預かりしました。コロナが蔓延し始めたので期間満了前に帰国となりました。その時は、本日卓話をいただく田中耕三朗会員にホストファミリーとして大変お世話になりました。おかげさまで無事にエリスを帰国させることができましたことに改めて感謝を申し上げます。

*ロータリーに入り青少年交換派遣の事業に触れ、こんなに素晴らしい取り組みがあったのかと知った次第です。今24歳の娘にも年齢が合えば是非経験させたかったと思いました。

ニコニコボックス

●2023.9.15（金）

◇**神辺会長・君島会長を始めとする東京八王子北ロータリークラブの皆様**ようこそお越しいただきました。また田中耕三朗会員には卓話よろしくお願ひ致します。滝島凜夏さんお帰りのさい、市川幹事・田中耕三朗会員、滝島凜夏さんをお迎えして。



幹事報告／
市川隆幹事

*先週、塩野IM実行委員よりご報告いたしました。11/13（月）15:30より京王プラザホテル八王子にてインターネット・ミーティングが開催されます。ご案内を配信いたしますので9/28（木）までにご出欠のご返信をお願いいたします。

◇**スピーカー紹介**
田村 肇プログラム委員長



スピーカー紹介／
田村プログラム委員長

◇**挨拶**（帰国報告）
2022-23年度青少年交換派遣生 滝島凜夏さん
謝礼贈呈

◇**閉会点鐘** 神辺和幸会長

◇山口・交換留学生滝島凜夏さん、東京八王子北RC田中耕三朗会員の卓話を楽しみにしています。

◇杉本・100%出席で41回目のメダルをいただきありがとうございます。

◇秋間・田中さんの卓話楽しみにしています。阪神リーグ優勝バンザイ！

◇石森・八王子北クラブ田中耕三朗さんようこそ八王子西クラブへ。卓話宜しくお願ひします。

◇大石和春・先月の三祝有りがとうございました。

◇磯間・滝島凜夏さん、交換留学生お疲れ様でした。(2年前の新世代委員長として)

◇金子・滝島さんの報告楽しみにしています。

◇塩野・阪神タイガース18年振りの優勝おめでとうございます。

◇滝島・娘がお世話になりました。

◇田村・田中耕三朗会員、滝島凜夏さんようこそお越しくださいました。本日はよろしくお願ひ致します。

（順不同・会員敬称略）



卓話 「自然災害等の危機管理について」

2023年9月22日（金）



八王子市役所危機管理専門管理官
野口庄司氏

八王子市の自然災害のリスクとしまして、震災と風水害について大きな対策を立てておりません。市町村によっては海を抱えている市町村ですと津波対策をやったりですとか、また富士山の近くですとか、火山の近くの市町村ですと火山対策、そんなようなところもありますけれども、八王子市で想定されている主な災害としては、首都直下地震をはじめとする震災、それともう一つが最近ではゲリラ豪雨とか台風も巨大化して被害が激甚化、頻発化しております風水害がございます。それについてまずお話をさせていただければと思います。

地震が起きた際に市の方でもやみくもに対策をするのではなくて、どのような被害が想定されているのか、そういったところをまず抑えた上で、その被害

をどうやって低くしていくか、「減災」なんて言っていますけれども、そんなような基本的な考え方を持って市の対策を行っているところがございます。まず被害想定なんですけれども、東日本大震災の直後に東京都が首都直下地震が発生した場合の被害想定というのを出したんですけれども、それから10年が経過しましてその間、熊本地震ですとか北海道胆振東部地震、そういった地震の対応の教訓ですとか、あるいは建物も耐震から進んだ核家族に代表されますように社会構成も変わってきたということ、昨年の5月に新たに万が一大きな地震が発生した場合には東京都の被害各市町村の被害がどのくらいになるのかというのを改めて公表をしました。主に都心南部直下型地震、多摩東部直下型地震、いわゆる首都直下型地震という地震ですね。それと立川断層という有名な活断層があるんですけれども、それが万が一グラグラと揺れたときどのような被害があるのか、またちよど今年で100年になるんですけれども、関東大震災を引き起こしました大正関東地震それと南海トラフ巨大地震。この4パターンの地震が来たときにどのような災害が発生するの

か、被害がどのくらいになるのか、そういった被害想定を公表いたしました。私たち八王子市に最も大きな被害が想定されているのは多摩東部直下地震でございます。多分震度6弱の揺れというのは、なかなか経験したことがないと思います。私も経験したことはないんですけれども、地震体験者でない経験がないと思います。ある科学的な調査によりますと、今後30年以内に首都直下型地震が発生する。確率というのは70%ということ、明日かもしれない、もしかしたら30年後かもしれない。いつ来るか、地震だけはこれだけ科学技術が発達した現在でも、まだ予知はできないとされておりまして。万が一首都直下型地震、その中でも多摩東部直下型地震とする多摩東部直下型地震が発生した場合には、お亡くなりになる方約186人、けが人が3000人を超える被害と、また建物の被害に関しても、全壊あるいは半壊合わせて約1万2千棟。今八王子市内にいわゆる大きなビルから一般の家庭まで、建物約14万棟から15万棟ありと言われています。建物の約1割が大きな何らかの被害を受けるこのような想定もされておりまして。また、火事で無くなってしまう消失棟数が3000棟を

超えてしまうというような被害想定も出ております。避難される方は8万6千人になるのではないかと。八王子市の今の人口が約58万人弱いますけれども、そのうちの8万6千人の方が避難生活を送るようなことになる、それをいかに今後減らすか、というのが我々行政ですとかまた市民の皆様と一緒に考えていかねければならない大きな課題だということで、市も震災対策をいろんな方面で進めているところがございます。それと八王子市の自然災害のリスクとして、震災と他にも一つ風水害というのがございます。先ほども申し上げましたけれども、今年には台風が幸いにして、ギリギリのところをかすめて大きな被害は出ておりませんが、全国各地では大きな被害が出ております。川が氾濫したり、土砂が崩れたりということ、被害が出ております。最近では特に地球の温暖化、そういったものの影響もありまして、台風ですとかゲリラ豪雨が頻発しております。数十年に一回の豪雨が本当に何年かに一度、それも全国各地で出ておりました被害も激甚化、頻発化している、というような傾向がございます。その中でも八王子市内の風水害、特に土砂災害に関しては、土砂災害の種類というのがあって、すけれども、一つが崖崩れ、そして土石流ですね。山の斜面から土砂が激流となつて流れて、家を押しつぶしてしまったりですとか、水路、河川に入ってしまった水をせき止めてしまったりします。それともう一つは地滑り、地面全体がずらずらずらつと滑ってしまう地滑り、これは八王子市には比較的少ないと言われておりますけれども、崖崩れと土石流に関しては、東京都が調査をしまして、八王子市内でも土砂災害警戒箇所と言つて、土砂災害が発生した場合には民家ですとか、人命に危険性がある。そういった危険区域というのが警戒しなければいけない区域ということで指定しているんですけれども、それが今、八王子市内で3669箇所ございます。もう至るところにこういった警戒区域黄色のところですので、我々イエローゾーンなんて呼んでまして、その中でもさらに特に警戒が必要のところ、この赤の部分ですね。レッドゾーンなんて言われてますけれども、それも約3000箇所を越える警戒区域がございます。風水害の対策リスクとしまして、もう一つ、土砂災害と浸水害と、この二つが、市内には、普段は親しみがある親水公園的



な要素があります。浅川ですとか、いろんな川が18あります。本当に普段は川辺で水遊びをしたり、釣りをしたり、ということ親しみを持っていて接していると思うんですけども、いざ大雨が降ったときには氾濫の危険性があります。河川が氾濫したことによりまして、浸水害が非常に多く発生しております。八王子市でも令和元年には台風第19号、いわゆる東日本台風なんて呼ばれてますけれども、台風で、市内の特に浅川地区や恩方地区で非常に大きな災害が発生しました。そのときには浅川地区なんかですと床上浸水、床下浸水が多く発生したなんていう状況がございました。降った雨の量が水路ですとか排水口、そういった処理施設の容量を超えてしまつて地面にあふれてしまふ、そんなようなのが内水氾濫。外水氾濫というのは、本場に川が氾濫、堤防が決壊しまして、川の水が街中にあふれてくるといふ状況で、そのような2種類の浸水害が想定されているところがございます。

今、地震ですとか風水害、八王子市ではどんな自然災害のリスクがあるか、ということでお話をさせていただきましたけれども、自分たちが住んでいる場所、あるいはお勤めになっている場所、あるいはお勤めになっている場所、どんな危険性があるんだらう、ということを知ることが大事だと思えます。住まいや職場周辺の災害リスクを知ろうと

いうことで、災害が起こる前にどんな危険性があるのか、ザードマップなんてよく言われていますけれども、それを知ることが防災の第一歩だと思えます。今、八王子市では、地震が来たら、あるいは地震が来ることを想定して、どんな備えが必要なのか、あるいは風水害が発生したときにどんなことをしたらいいのか、発生する前にどんな備えをしておいたらいいのか、ということを書きました「八王子市総合防災ガイドブック」というものを発行しております。インターネットでもホームページでもご覧になることができますので、ぜひ一度ご一読いただければ、と思えます。その中にハザードマップというのがあります。ちよつと分かりにくくて恐縮なんですけれども、色がついております。ちよつとこれは浅川が北浅川と南浅川に分かれる辺りのところ、この辺が市役所なんですけれども、色がついているところが浸水の可能性がある場所です。またちよつと見にくくて恐縮です。赤いラインの枠があるところ、それが先ほど申し上げました土砂災害の警戒区域。石流ですとか崖崩れの危険性がある区域。これを八王子市内全域でこういったハザードマップもこの防災ガイドブックの中でご覧いただくことができます。こ



八王子市総合防災ガイドブック



九月三祝

長月（ながつき）
誕生花 えぞ菊
誕生石 サファイア

会員誕生祝

山本 正光 77回
佐々木 章 69回
鈴木 雅徳 61回
山本 俊明 60回

松崎 眞司 53回
田中 伸幸 52回
近藤 芳弘 52回
松村 光 38回

及川 弥子 様
石森 純子 様
平野 晶保 様
明利 千枝子 様
末木 里栄 様
松崎 知子 様
滝島 由紀 様
佐山 正子 様
鈴木 由美子 様
松村 有紗 様
松本 直美 様

加藤 直也 35回
坂下 幸夫 34回
松崎 眞司 29回
末木 博弘 28回
近藤 芳弘 26回
市川 隆 25回

天野 順也 22回
安藤 謙一郎 22回
原 啓一郎 21回
高橋 光康 19回
立花 探卓 19回
鈴木 卓 14回

結婚記念祝
（銀婚式）

（順不同） 会員敬称略



例会報告

第2745回 ● 2023.9.22 (金)

◇司会 松島 勝会場監督補佐



司会 / 松島会場監督補佐

◇開会点鐘 神辺和幸会長
◇Rソング
それこそロータリー

◇お客様のご紹介
八王子市役所危機管理専門
管理官野口庄司様

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告・ニコニコ発表
宮原真吾出席・財務副委員長



出席報告・ニコニコ発表 / 宮原出席・財務副委員長

◇会長挨拶 神辺和幸会長
会員107名中61名出席。
出席率62・38%。前々回9月
8日の出席率62・24%を69・
31%に修正いたします。



会長挨拶 / 神辺和幸会長

*コロナは案外感染拡大している
ようで、それに加えてインフ
ルエンザも流行し、学級閉鎖

も多いというニュースをTVで
見ました。

*巷では2024年問題とい
うのが囁かれています。法改正
は2019年だったのですが
急な対応は難しいというこ
とで猶予された5年が終わる
来年4月1日に施行される
予定で、問題が本格化するよ
うです。

皆さまの会社でも36協定を
結ばれていると思います。建
築業界の現場では、だいたい
朝8時に仕事が始まるので資
材の運輸も8時に集中する
ため、業界ではドライバーの労
働時間が問題になっていま
す。残業の問題は建築業界に
とどまらず全ての業界に関
係していると思います。来週
金曜日(9/22)に八王子商
工会議所にて2024年問
題についてのセミナーが開催
されますので、是非お勉強な
さつてみてはいかがでしょうか。
*認知症で不安になる人が少な
くなる社会をめざすというこ
とで、「脳の健康チェックフリー
ダイヤル」というものをNITT
が行っています。電話でAIの
質問2つに答えると判定して
くれます。ちなみに本日試し
にやってみましたら、わたくし
異常なしでした。

*本日は野口庄司様に危機管
理について卓話をしていただ
きます。7年ほど前にもいら
していただきました。今年
は幸い台風の影響を受けず

済んでおりますが、冬は大雪
が降る八王子ですので、日頃
気を付けるべき点などにつ
いての有意義なお話を楽しま
しております。

◇幹事報告 市川 隆幹事



幹事報告 / 市川隆幹事

*東京広尾RCよりロータリー
コネクトというイベントのご案
内をいただきました。11/11
(土)13時より外国特派員ク
ラブにて国際奉仕団体が語
る「ZEDD」の催しです。先
着120名で締切とのこと
ですので参加を希望される
方は事務局までご連絡をお
願いたします。

*本日メールボックスに米山記念
奨学事業の豆辞典を配付い
たしましたのでご一読のほど
よろしく願いたします。

◇委員会報告

相川 博社会奉仕委員長
11/12(日)御陵記念碑と
参道の清掃活動のご案内

◇卓話

スピーカー紹介
橋本 孝プログラム副委員長
スピーカー

八王子市役所危機管理専門
管理官野口庄司氏
テーマ「自然災害等の危機
管理について」

◇閉会点鐘 神辺和幸会長

ニコニコボックス

● 2023.9.22 (金)

◇神辺会長・八王子市危機管
理専門管理官野口様、本日
の卓話どうぞよろしくお願
い申し上げます。

◇市川幹事・八王子市役所の
野口様の卓話楽しみにして
います。

◇田村・危機管理専門管理官
野口庄司様をおむかえし
て。

◇山口・橋本会員の活躍、応
援します。

◇立花・当事務所職員の子
がサッカーU22日本代表に
選ばれ杭州アジア大会に出
場しています。応援よろし
く願いたします。名前は日
野と申します。

◇橋本・本日の卓話、野口危
機管理専門管理官よろしく
願いたします。

◇宮原・宜しく願いたします。
(順不同・会員敬称略)

深く哀悼の意を表し
ご冥福をお祈りいたします
福山真吾パスト会長
2023年9月24日逝去
(享年76歳)
2009年7月3日入会
2017-18年度 クラブ会長
2017-18年度 地区代表幹事
米山功労者 /
ポール・ハリス・フェロー

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

https://www.hachioji-west-rc.org

会長 神辺和幸 幹事 市川 隆 広報委員会 浅川立憲 末木 博 船江栄次 及川久男 小林潔正 原 巖 平野智彦 天神敏博



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org